

まちづくり大学院演習

「地域をマネジメントする多主体連携拠点をデザインする」

各地で市民・住民、NPO、民間企業、大学など多様な主体が連携する形で地域のマネジメントを創造的に実施する空間的・組織的拠点が設置されつつある。この課題では、こうした多主体連携の拠点の運営について、具体的に検討が行われている横浜市たまプラーザ WISE リビングラボ、隅田川ラボ、渋谷デザインラボなどを対象にして、具体的にその場のあり方（空間デザイン・利用、機会の提供機能、運営マネジメント体制、資金確保スキームなど）を検討・提案する。

スケジュール

- 5 / 2 1（→27日に振り替え予定小泉出張のため）：課題説明、グループ分け
- 6 / 4：事例に関する情報提供
 - 1 1：現地踏査 or 先行事例の調査
 - 1 8：拠点の企画・構想 1
- 7 / 2：拠点の構想 2
 - 9：拠点のデザイン or 主な主体へのインタビューなど（必要に応じて）
 - 1 6：拠点のデザイン or 主な主体へのインタビューなど（必要に応じて）
 - 2 3：成果発表会（ランドスケープと合同）

体制

小泉、近藤学術支援専門員（小泉研）、各事例担当者（講義、情報提供、講評）

